

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	津田川周辺地区における防災力の向上（防災・安全）												
計画の期間	令和05年度～令和05年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	貝塚市												
計画の目標	津田川周辺地区は、津波浸水想定区域や洪水浸水想定区域があり、津波・水害ともに大きな被害が予想される地域である。 指定緊急避難場所である貝塚市東小学校及び津田小学校に近接する敷地に災害用物資の備蓄を目的とした防災備蓄倉庫を整備する。 これにより、地域住民の災害用物資の備蓄が可能になり、指定緊急避難場所の機能強化につながる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	82	A	82	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R5（当初）	中間目標値	最終目標値 R5末
1	災害時の供給可能物資が730人分から10,000人分に増加 災害時の供給可能物資	730人分	人分	10000人分
2	配送距離が7.7キロから2.2キロに短縮 配送距離	8キロ	キロ	2キロ

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	貝塚市	直接	貝塚市	-	-	防災備蓄倉庫整備事業	防災備蓄倉庫2棟	貝塚市津田川周 辺地区						82	-	
											小計						82		
											合計						82		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

貝塚市で実施

事後評価の実施時期

令和6年12月

公表の方法

貝塚市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

倉庫を新築することにより、津田川周辺地区への供給可能物資の数が増加し、配送距離が短縮した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

様々な災害の教訓を基にして、物資の備蓄について随時見直しを行い、今後起こる災害に対応できるように努めていく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	10000人分
	最終実績値	10000人分
2	最終目標値	2キ口
	最終実績値	2キ口